

モニタリング結果報告書

施設 藤野芸術の家
 指定管理者 (社) 神奈川県青少年協会
 施設所管課 青少年課

(平成 22 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	11月15日	改善すべき業務等なし
11月	12月10日	12月13日	改善すべき業務等なし
12月	1月11日	1月13日	改善すべき業務等なし
1月	2月8日	2月10日	改善すべき業務等なし
2月	3月10日	3月18日	改善すべき業務等なし
3月	3月31日	3月31日	改善すべき業務等なし

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

< 提案内容の概要 >

当該施設は、旧藤野町の「藤野ふるさと芸術村構想」で、芸術村の拠点施設として施策が展開されてきた経緯もあり、地域との連携は欠かせない要素であることから、地域イベントへの参加や地域芸術家との連携など、協力体制を構築していく。

< 実施状況 >

10月 藤野ふる里まつり出展「万華鏡づくり、ハロウィンの絵を描く体験」 参加者計 86名
 11月 地域作家教室「プリザーブド・フラワーで作るクリスマスリース」 参加者計 16名
 1月 地域文化団体、書道団体との共催事業「新年書初め藤野席書き大会」 参加者計 49名
 3月 地域作家教室「サンキャッチャー 窓に飾るスタンドグラスを作る」 参加者計 11名
 その他、地域芸術家の小作品販売や地域芸術家活動紹介、地域情報の提供などを実施。

上記のような地域作家を講師に迎えた教室の開催や地域イベントへの参加などの取組み等を通じ、地域芸術家や住民、団体等との連携や協力体制を築くことで、地域振興に寄与するとともに施設のPRに繋がった。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入		
年間予算額	166,941	130,411	23,360	13,170	166,941	0
上半期計 (a)	85,605	58,080	17,373 (21,047)	10,151	75,792	9,813
下半期計 (b)	78,962	72,331	2,072 (13,225)	4,559	91,344	△12,381
10月	11,921	10,267	545 (3,019)	1,108	12,734	△813
11月	18,799	17,094	532 (2,120)	1,173	12,476	6,322
12月	11,240	10,417	271 (1,601)	551	17,458	△6,218
1月	10,981	10,124	398 (1,433)	459	10,184	797
2月	10,763	10,027	242 (1,424)	494	11,044	△280
3月	15,255	14,402	81 (3,626)	771	27,446	△12,190
合計 (a+b)	164,568	130,411	19,446 (34,272)	14,710	167,136	△2,568

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

外壁工事実施による宿泊利用休止に伴い各種団体の合宿等の受け入れができず、その他施設の利用も伸び悩んだこと、また、大震災の影響による利用キャンセルにより利用料金収入が落ち込んだため。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況		
	該当なし	
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	56,318 人	62,628 人	△10.1%
下半期計 (b)	19,220 人	32,786 人	△41.4%
10月	3,979 人	6,818 人	△41.6%
11月	4,790 人	6,257 人	△23.4%
12月	3,120 人	4,338 人	△28.1%
1月	2,788 人	4,440 人	△37.2%
2月	2,696 人	3,404 人	△20.8%
3月	1,847 人	7,529 人	△75.5%
合計(a+b)	75,538 人	95,414 人	△20.8%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

平成22年9月～平成23年3月まで、宿泊棟の外壁工事实施に伴い宿泊利用を休止したこと、また、大震災の影響でキャンセルが発生したことにより、利用者数が減少した。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	1	1
1月	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	0	0	0
1月	0	0	0
2月	0	0	0
3月	0	0	0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者には評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・特筆すべきものなし	
	・	
職員対応	・特筆すべきものなし	
	・	
事業内容	・特筆すべきものなし	
	・	
その他	・特筆すべきものなし	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	該当なし
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		今期実施なし	
月 日			

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>運営にあたっては、魅力あるプログラムの提供や休館日の臨時開館、利用者満足度調査結果の反映など、サービスの向上を図るとともに、地域イベントへの参加などによる地域連携の促進、パンフレット配布拠点の拡大、計画的なポスティングなどによる広報活動等により、利用者増加の努力を行った。</p> <p>今期は、長期間にわたる宿泊棟外壁工事や大震災の発生等不安を抱えたが、無事に指定期間を終えることができた。</p>
施設所管課	<p>今期は、外壁工事に伴う宿泊室利用休止等の影響が懸念される中、工房における期間限定メニューの提供や各種イベント開催、休館日の臨時開館などにより、利用者増と利用料金収入の増加に取り組んだ。震災の影響もあり、結果として利用料金収入は伸び悩んだが、経費節減に努める一方、利用者の安全確保のため、施設・設備の点検を滞りなく行うとともに、利用者サービスの向上のために積極的な設備改修を行うなど、適切に管理業務を行い、5年間の指定期間を大きな事故等無く終了した。</p>